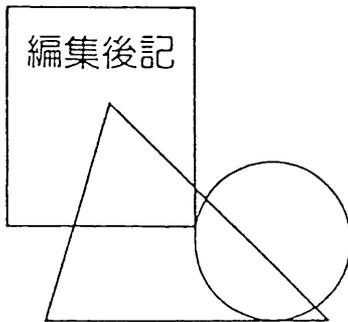


顔も知らない大学図書館や病院図書室の担当の方から親切を受け、(大げさですが)感激することがあります。こちらからの依頼に対する単なる答えだけではなく、担当者の方の機転と厚意による付加価値のついたサービス。ファックスや郵便だけのやりとりだったりしますが、そこには確かにライブラリアンシップの存在を感じます。



インターネットで誰もが情報源にアクセスできる時代、21世紀の図書館は? 図書館員はどうなるのか? などという話をよく耳にしますが、コンピュータからは得られない、私たち図書館員だからこそ提供できる情報やサービスがあります。

相互協力の上でも、もちろん利用者に対するときも、相手を思いやれる程度の心のゆとりや、ライブラリアンシップを、失わずに済むような時代がこれからも続いてほしいと思います。

(大橋真紀子)

---

病院図書室 第19巻 第4号

季刊

1999年11月30日 発行

定価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒612-0861 京都市伏見区深草向畑町1-1 国立京都病院図書室 気付

TEL (075) 641-9161 FAX (075) 643-4325

印刷所 (株)小西印刷所 〒663-8225 西宮市今津西浜町2-60

TEL (0798) 35-1331 FAX (0798) 35-1333

---